

第44回全空知子どもの作品を語る会 赤平豊里大会 題材出店案

題材屋台担当者名 竹田 睦生

題材名	わたしをみまもる目
-----	-----------

領域	小学校全学年 (彫 塑)
----	-------------------

1, 題材について (この題材を通して子どもに気づいて欲しいと考えること)	
<p>・ひとは想像力を働かせることで目に見えない物を形にすることができる。そこからいろいろなものを作り出すことができる。今回は目に見えない物を身近な存在として感じ、想像力をはたかせて形を与えていく造形に挑戦させたい。この活動を通じ子どもたちは自然に目を向けたり、自分の周りの世界に目を向ける。そしてそこに自分なりの思いをのせて形を与えていく中で、自分の内面に目を向けていくことにもなる。また、完成した作品をお互いに見合わせることで自己と他者の違いや、造形の主体である自分自身の内面へのさらなる気づきにもつなげていきたい。</p>	
2, 素材・材料について	
<p>材料)・木塑 (ウッディ粘土) ・空き缶 ・ろうそく ・下書き用の紙 道具)・釘 ・かなづち ・缶切り ・木工用ボンド</p>	
3, 題材のテーマ	
(1) ハートのテーマ (制作する動機付け・焦点化したい子どもの中の気づき)	
<p>・目に見えないものを形にしていく。 ・自分の思いを形にしていく。(内面世界の顕在化・内観) ・いつも身近にあり、自分を見守る存在としてとらえさせる。(客観的な視点)</p>	
(2) ハンドのテーマ (どのような方法を通して制作するか・少しの抵抗感・ハードル)	
<p>・缶の上に想像をふくらませて像をデザインする。 ・デザインを元に粘土で造形をしていく。 ・正面からだけでなく立体を意識して。 ・土を盛る順番、全体と部分のバランスに気をつけて。</p>	
(3) つながるテーマ (制作を通して他の人と共感するために)	
<p>・お互いの内面世界にふれる。 ・自分とは違う発想や工夫点に気づく。</p>	
4. 制作の手順・留意すること	
<p>・空き缶を集め (選び)、上部をくりぬく (もしくは切断する) ※今回は省略 ・切った缶の内側の毛羽立ちをヤスリなどで整える ※今回は省略 ・缶の周りに紙を貼りデザインを施す (無地の缶なら直接でも可) ・目や口など開口部にしたい部分を釘などで穴を開ける ・紙を取り外す (つけたままだと粘土の水分を吸って後ではがれやすい) ・缶の上に粘土を盛りつけ造形していく (・完成し乾かした物の形を整えたり着彩する) ※今回は省略 ・作品の中にろうそくを入れ、火を灯す</p>	
5, その他	
<p>・今回は異年齢集団による縦割りの活動であることを活用し、上の学年が下の学年の手助けをするなど制作段階からお互いが関わりあう場面をうまく設定していきたい。</p>	